

# 星屑

April' 04

No. 349

撮影：熊本県民天文台  
41cm ニュートン式反射望遠鏡  
Logicool Qcam QV-700N 改 使用



土星 2004年1月4日



木星 2004年2月15日

熊本県民天文台

## 光害防止へ！ 着実な前進が続いています

**2/28 島原・長崎の方々と「光害対策」交流会**

**3/3 熊本県議会で「光害防止条例」可決**

**大分県、宮崎県でも条例制定へ意見公募**

**3/12 北海道北檜山町でもパチンコ店が投光中止！**

「星空の見えるまちづくり」DVDの申込や、活用事例の報告が寄せられています。

3月発売の「星ナビ」にも、DVDの紹介が掲載されています。



### 2月28日 光害対策交流会

島原から「うんぜん星を見る会」として活動されている内島さんと江越さん、長崎からトミタ天体観測会の草野さん、合わせて3名の方が県民天文台を視察に来られました。

天文台の見学、ミーティング室（兼宴会室）の確認、光害対策やサーチライト投光中止への取り組み、上方光束ゼロ防犯灯の実地見学、城南温泉体験入浴、そして、本番のエンドレス宴会と、たっぷり熊本の夜を楽しめました。

実は当夜、もっと大勢の会員さん方にも参加して頂くつもりだったのですが、連絡の不備や突発的なトホホトラブルに捕まつたりで、結果お相手できたのは私とヒゲさんの2名でした。

熊本でサーチライト問題がうまく解決した理由などについて情報や意見を交換。島原長崎地区での今後に期待をしつつ、延々と朝5時ま

で歓談。

お土産に、特製の「星空の見えるまちづくり」DVDをお持ち帰り頂きました。

皆さんも、ぜひ、島原でのサーチライト投光中止に向けた活動に関心を寄せて頂き、様々な支援をして下さるようお願いします。

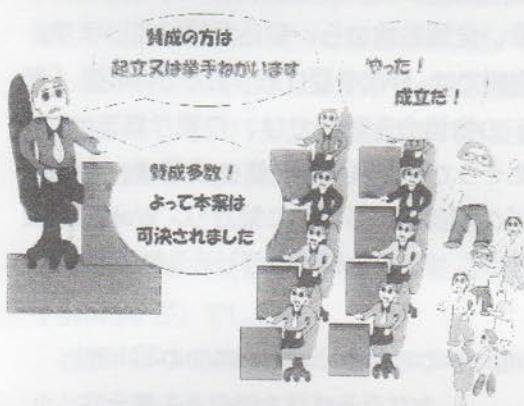
現地で活動する方が、「必ず成果を得られる」と確信を持って取り組んで頂ければ、近い将来に、サーチライト投光中止を勝ち取られるはずだと思います。

### 3月3日、県議会で条例可決

県環境政策課からご案内頂いておりましたので、県議会最終日を傍聴にいき、予定通り「光害防止条例」の可決に立ち会いました。可決成立した条例は、県の広報に掲載される予定で、10月1日から施行されます。広告サーチライトの禁止（罰則規定付き）、漏れ光や光害防止への配慮義務などが定められており、私たちが進める「星空の見えるまちづくり」への大きな後ろ盾が出来ました。

熊本県は、昨年から今年1月にかけて、この条例の制定に向け、条例案の説明をし意見公募を行っていました。県の説明内容は、天文台のWebページに掲載していますので関心のある方はご確認下さい。

<http://astro.magma.ad.jp/hikari/hosizora.htm>



### 大分、宮崎両県でも

光害防止条例制定への動きが加速しています。両県は、今年1月から3月にかけて相次いで県民からの意見公募を実施しています。

宮崎県の意見公募は、昨年に次ぐ2回目の実施で、昨年県民から寄せられた意見なども公開されています。また、光害への県民の理解を促す資料もふんだんに用意されており、環境全般に関する条例整備の一環として取り組まれていて、県が環境対策全般にかける意気込みが伝わってきます。

私は、このような各県での動きが決して偶然ではなく、環境省のガイドライン策定に始まり、先進県での条例制定や、各地での真剣な取り組みの成果がフィードバックされた結果であると思います。光害対策が「波及」する段階が始まっているのです。

昨年、「星空の街・ああぞらの街」全国大会で感じた、各自治体の熱意に満ちた「光害対策」への視線は本物だったと、今、確信を深めています。

### 流れは環境

これらを見ても、今、行政の大きな関心が環境問題の改善に向けられていることが分かります。地球温暖化を避け、環境への様々な負荷を減らし、持続可能な社会づくりへと舵を切ろうとしているのです。この流れは、企業にとっても同じです。いまや、環境対策抜きに企業の存続や繁栄を語ることは出来ないと言つても過言ではないでしょう。また、市民の目も環境問題の改善へと熱いまなざしが集まり始めているのです。

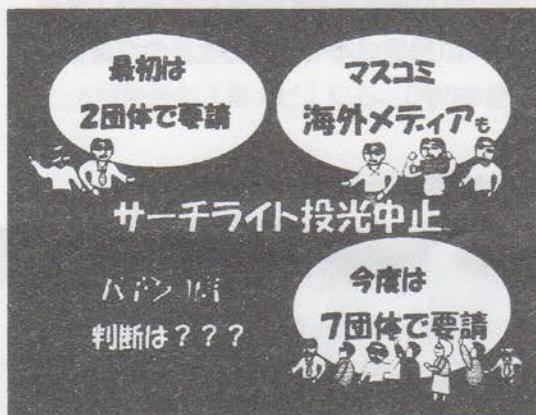
### ガイドライン や ガイドブック の再評価を！

そんな中で、私は、環境省の「光害対策ガイドライン」や「光害防止制度に係るガイドブック」をもっと積極的に活用しよう!と全国の光害に取り組み人々に呼びかけています。

これまで、多くの場合、天体観測への障害を中心に問題にしていたので、光害への市民の認識は広がらず、サーチライト投光中止などの取り組みは苦戦の連続でした。いつしか、「国には法律や条例がなく、ガイドラインだけしかない」とか「ガイドラインしかないので、規制できない」と、諦めたり弱気になったりする例が多くなっていったわけです。

しかし、私たちは熊本で、国（環境省）は、

「広告目的のサーチライトは許容しない」と明確に規定している、条例がないのは条例化を怠っている地方自治体の問題だ。住民にはサーチライトや光害への不満が実際にあるのだから、サーチライトは投光中止されるべきだし、行政もすぐに対応すべきだ、と訴え成果を上げてきました。



安全や安心のために生活の場を明るくする夜間照明、その漏れ光が引き起こす様々な光害。しかしサーチライトは、一私企業が営利のために広告宣伝目的で夜空に強烈な光を打ち上げグルグルかき回すもので、通常の光害とは異質なものです。だからこそ、国（環境省）も「許容しない」と明確に指針を出しているわけだったのです。

そんな経験から、ガイドラインやガイドブックに結実している環境省の精一杯の努力を、積極的に評価し最大限に活用しましょう!と呼びかけています。



#### DVD制作・配布への反響

とはいっても、熊本での劇的な展開を目の当たりにした皆さんでさえ、詳細を理解するのは大変だったと思います。それほど、あれよあれよという間の展開だったはずですから。

そうです、それくらい「光害」をめぐる社会の変化は流動的な段階へと進んでいます。

DVDは、そのことを少しでも早く、詳しく、全国で光害に取り組む方々に知って頂こうと思い制作しました。配布の呼びかけはWebやメールリストを使って行いました。

あんまり大量に申込が来ても対応できないし、使えるお金もないしてから、県民天文台の「星空の見えるまちづくり事業」に3千円以上の募金をして頂いた方に資料としてさし上げるということにしました。

幸い全国各地から、申込が続いています。

宮崎では、DVDを受け取った方が、早速、「光害」の勉強会を呼びかけ、仲間が集まってくれたそうです。勉強会開催の成果は、Webページの開設という行動に繋がり、Web掲示板を通じて、少しずつ輪が広がりそうな気配です。

<http://cacao55.fc2web.com/sub23.html>

このWebページによれば、DVDの感想は、「面白い! わかりやすい! なるほど! という内容だった。」というものだったそうです。

他に、参加者の感想文も掲載されているなど、「星空の見えるまちづくり」への深い賛同さえ感じることが出来ます。

また、この方は、宮崎県への公募意見でも重要な発言をしておられます。

熊本での活動をまとめた報告が、DVDになり、インターネットを通じて他の人の手に届き、こうやって一人歩きを始め、各地で活動の芽を出してくれるとは! 大感激です!

## Web掲示板がサーチライトを止めた！

北海道、北檜山町では、パチンコ店のサーチライトに対して投光中止を求める意見が、北檜山町役場が運営するWebページの「掲示板」上で展開されていました。

途中、「署名活動を始めよう！」と意見が出たこともあったようですが、なかなか決定打が打てず、「大詰めに来ているのに！」と最初に問題提起された方も困っておられたのだそうです。

つい先日、「光害対策メーリングリスト」の参加者から、その掲示板が盛り上がっていると教えて頂き、私も拝見しました。そして、「環境省にはガイドラインしかない」という書き込みを見たのです。

早速、悲観的に考えず、「国は、サーチライトを許容しないと明言している」と積極的に活用しては如何でしょうか?と提言しました。すると、掲示板にはそうした意見がすぐに投稿されました。そして、パチンコ店側がそれを受け、検討を約束されました。

.....

朗報が発せられたのは、昨夜遅く（3月12日午前0時すぎ）でした。

当該パチンコ店さんは、サーチライト投光中止と完全撤去を決断されたそうです。

<http://www.hokkai.or.jp/kitahiyama/>  
上記アドレスで、北檜山町の掲示板をご覧下さい。関係者の喜び一杯の声が溢れていますよ！

この成果は、北檜山町でねばり強く取り組んでこられた伊勢さんを中心とする皆さん方のご苦心の賜です。また、地域住民の声に真剣に耳を傾けてくださったパチンコ店さんの決断のお陰です。

そして、私たちの活動やアドバイスのひと言が彼等を勇気づけた成果でもあることを、大変嬉しく、また誇らしく思うのです。

## 北檜山町の伊勢さんからのメール

皆様、今晚は。

北檜山の掲示板を、御覧戴かれた方も、おられると思いますが、パチンコ店より、完全消灯そして、完全撤去との結論が出されました。

ご助言下されました方々、本当に有難う御座いました。

未だ、残っている光害問題は色々有りますが、取り敢えず、最大懸案のサーチライトは解決致しましたこと、御報告致します。本当に、この度は有難う御座いました。

## さあ、連携の輪を広げましょう！

Webページや掲示板、メーリングリスト、そしてDVD、いろいろ活用できる武器が揃ってきました。

私たちの社会は、ここ数十年の間にどんどん光を溢れさせ、日本中の大半の都市から星空を追放し、星の光をかき消してきました。

しかし今、私たちは、ささやかなものではあります BUT 「光害を減らす」確実な手段を手に入れつつあるのです。こうやって全国の仲間が力を合わせ、知恵を寄せ合えば、必ず大きな力に育つはずです。すでにその予兆は見えています。そして、数十年後には、いいえ、うまい方法を工夫しさえすればもっと早く、みんなが住んでいる町に「星空」を取りもどすことが出来るはずです。

九州から、北海道から、そして全国各地へ、サーチライトの灯光中止！ 光害防止条例の制定！ 星空の見えるまちづくりを！ の声を広げ、活動を組織し、光害防止への連携の輪を広げましょう。あなたが立っている場所、そこが光害対策の最前線なのです。

# 火星大接近の巻

5万7千年ぶりとか、6万年ぶりなどと、マスコミのお陰で大変な賑わいだった天文台。私は仕事の都合上、あまりお手伝いも出来ず、撮影も殆ど行っていないのだが、一番印象に残っている事と言えば、やはり大接近当日に、早くから天文台に並んで待って頂いた方々とのふれあいである。階段の登り口で誘導したり、駐車場の整理をしたりと私は勿論、天文台のスタッフもてんてこ舞いであった。いつもなら、望遠鏡もあちこち向けて色々楽しんで頂きたいのであるが、何せ長蛇の列。どこまで続く？と列が長すぎて後ろが見えない…。という人々の大賑わいだったので、御神体の望遠鏡は火星に固定。階段下のほうからは、まだ？まだ？と子供達。そんな中、退屈しないようにと、スタッフ総掛かりで火星の説明や、星座の説明をエンドレスで説明して(私もその中の一人)いた。8月27日以降でも暫くの間見ることが出来ますよ～、と言っても、今日見る事に意味がある、という方々もいて、待ち時間もこれまた楽し、という星見スタイルであった。ちょっとしか見られんかった、等と言う方には天文台のパンフ一式を差し出し、是非また今度…と営業？をしながら、ふと気が付くと夜半である。一般観望が終わり、写真撮影を、と待っていると先約が…。撮影出来ない…。さて、少し前から惑星写真の撮り方が劇的に変わってしまった。ウェブカメラなるもので動画を撮り、それを分割？してバラして重ねてと、とんでもない方法が使われるようになった。100枚とか200枚とか、多いと1000枚以上のコンポジットなのである。こちらは静止画を一コマ一コマ撮影していくだけの普通のデジカメ。そんな100も200も撮れない。動画は、パソコンで見ながら、ポチッてOK。30秒とか1分とか撮ってお終い。でもその後の処理がもの凄く大変なのであるが…。最初、その方法を見た私は、え！の一言だった。こりやかなわん、や～めた。で、それから火星の写真は殆ど撮影していない。一時、ウェブカメラを買おうかとも思ったが、パソコンが無いと使えないという代物。カメラは安いのにそれを制御するパソコンが必要。天文台で使うなら、ノートパソコンでないと(まさかデスクトップを抱えて来る訳にもいかず)使えないし、そんな事があり、結局諦めてしまった。かと言って何もしないと腕がムズムズするので、データーの処理、というのをさせて頂いた。ポチッて撮影した動画。これをバラバラにして、重ねて画像処理という、やればやる程ドツボにはまる。ふと気が付いて、処理後の写真を見てみれば、はまって処理した写真の、何とも不自然な事が…。

肉眼で見ているような、自然な感じを残しつつ極冠やシルチス等を浮き上がらせ、表現させるか。大変である。その後も暫くは画像処理の下請けみたいな事をしていた。同じデーターでも、人それぞれ好みがあり、出来上がりの写真は全く違うように出来てしまった、なんて事もある。火星が遠くに行ってしまったので、暫くは撮影ともお別れである。代わりに、ネットでオポチュニティや復活したスピリットの活躍を見ている。2台共、色々な写真を送って楽しませておくれ。なんと便利な時代になったことだろう。まあ、その分出費も多いのだが…。 Tommy

「星空の見えるまちづくり」DVDができました！



「星空の見えるまちづくり」事業に

3,000円 以上

募金していただいた方に  
資料として差し上げています  
お申し込みは

e-mail: astro@magma.ad.jp ^

県民天文台の「星空の見えるまちづくり」DVDが  
月刊「星ナビ」4月号 33ページに紹介されました

CS放送に、県民天文台が登場  
読売新聞(全国版) 環境特集を元に  
とれんと  
「光と闇の調和を～光害を考える」が  
制作されました！

読売本社 科学部より  
ビデオテープが届いています  
近日上映会実施予定！

## 2月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 10日/13日=76.9% 一般来台者数 21名 会員来台 38名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
7日 (土)	くもり 一時は れ	5名	小林J、鹿島、 中尾の	土星、月
8日 (日)	晴れの ち雲	2名(～清 和に言つた ら音でスラ イティング ルーフが開 かなかつた そうです)	鹿島、高田	金星、土星、リゲル、M42、シリウス、M41、 すばる マンガ「アフターO」おいておきます(高田)
10日 (火)	快晴		Tsu	2/6(金) 夕方より「光害防止」DVD の募 集を開始。「星空の見える町づくり」電子紙 芝居をビデオに録画し、DVD に収録したもの。 昨夜までに全国各地(4県)から申し込みが あり、2/9、2/10で発送した。 又、大分・宮崎両県でも今年、光害防止条例 制定の動きあり!という情報がよせられた。 木星の撮影。シンチレーションでピント悪し (Tsu)
11日 (水)	晴			N氏に依頼されていた物すっかり忘れてま した。材料を購入し、天文台へ持ってきてま した。土曜日にでも少し早く来て作業します。 スタッフルームと台所の「あいだの部屋」の 電灯の消し忘れ有り(松本)
13日 (金)	晴	2名	西嶋、松本、 中尾ノビタ、 立川	木星、土星、シーイング良好。時間外の来台 者(親子)、道が分らずやっと来台との事。 子供さんの星の知識、良く勉強していました。 満足して帰られました。(立川) 金星、土星、木星とデジカメ撮りました。 ちょっとゆらゆらでしたけど…(西嶋) 土星。電池切れにもめげずに何とかとりま した。(のび太)
14日 (土)	晴		中島、鹿島、 中尾の、松本	本日、トークアバウト。5/9総会予定(松本) Tsu、小林J、高田、西嶋

15日 (日)	晴		鷗島、高田、 小林マ	土星、ビデオで撮影（小林マ） 木星、Webcam で撮影。撮影中に齋永氏来 台。（ミューア天文台の帰り）(Tsu) 小林J、齋永
20日 (金)	晴のち 曇	O	小林J、西嶋、 松本	晴れてたのでデジカメ撮影をしてたら雲が きた。M 氏も来た。 水道の水、ちゃんと出てますよ（西嶋）
21日 (土)	くもり /はれ	4人	中島	（さびしい夜でありました。誰も来ない…。 少し晴れたのだけれども…） といっていたら、4人も！！ 土星、木星、M42、M41、シリウス、M45 など（中島）
27日 (金)	くもり 時々晴	2人（鹿本 町から熱心 な女性 2人 でした！）	鷗島、小林J、 松本、西嶋、 立川	金星、火星、土星、木星、月。 くもっていたのが晴れ、お客様が帰ったと たんにくもりました。でも、月も土星もとても きれいでしたよ。火星はかつての姿からは 見えられない小ささ（西嶋） デジカメで月、土星（味をしめてる西嶋）
28日 (土)	悪・嵐	3名	中島、Tsu	島原から内島・江越さん、長崎から草野さん。 天文台について説明。 「星空の見える町づくり」「サーチライト」 についての交流会。朝方5時まで……。 城南温泉も楽しんで頂きました！ 移動屋根の説明をしていたら、北端の滑車が 壊れる寸前の状態であることを発見！！応 急修理が必要です！ ナットがはずれ、軸がとび出し、もう少しで 抜けてしまいそうだった。(Tsu)
29日 (日)	晴れの ち曇	鮑田東小の 先生と恵子 (小林 J の 紹介)、豊野 村の男性	鷗島、小林M、 高田	金星、火星、月、土星、木星、シリウス、リ グル、スバル、オリオン大星雲、ヒアデス（双 眼鏡）（高田） 小林 M、月ビデオ撮影 移動屋根のトラブル応急修理しました(Tsu)

先月の閏年は如何でしたか?なんか、働いている日が一日多いので、私は損した気分ですが…。だいぶ暖かい日が続くようになりましたね。暖かいと言えば、阿蘇で2月の20日は気温が観測史上初の20度だったんです。その前は41年ぶりの大雪だったのに、これも異常気象でしょうか?このまま行けば、桜の開花も早くなりそうですよね。お花見しましょうよ、お花見。いや、花見の宴会、かな?…。

## ★ 4月の天文現象&行事★

- 3日(土) 金星がおうし座のプレアデス星団に接近(18:00~)  
2日~4日、接近する様子が双眼鏡等で楽しめます。
- 4日(日) 清明(せいめい…春の日射し強く、全てのものが清く洗剤としてくる時期)
- 5日(月) 満月(20:03)
- 10日(土) トーカアバウト(天文台にて 20:00~ )
- 12日(月) 下弦(12:46)
- 14日(水) へびつかい座Rが極大(周期307日 7.0~13.8等)  
いて座RTが極大(周期306日 6.0~14.1等)
- 17日(土) 春の土用(01:11)
- 19日(月) 新月(22:21)(アフリカ南部で部分日食 日本では見えない)
- 20日(火) 穀雨(こくう…春の雨が穀物を潤す時期)  
地球がC/2001 Q4(NEAT)彗星の軌道面通過
- 22日(木) こと座κ流星群が極大(07:00)
- 23日(金) C/2002 T7(LINEAR)彗星の近日点通過(0.61450天文単位)
- 26日(月) おとめ座流星群が極大のころ(00:00)
- 28日(水) 上弦(02:32)
- 30日(金) ヘルクレス座Uが極大(周期406日 6.4~13.4等)

16年度定期総会は  
5月9日(日)の予定  
火の鳥総合文化センター

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2003年4月号 通巻349号  
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226  
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台  
TEL 0964-28-6060  
振替口座 01980-0-24463  
NPO熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作  
ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>